

区分	あゆむ チェック項目	事業所の現状評価				工夫した点 改善点	保護者の方の評価（配布数18人・回答数18人）				保護者からのご意見	評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入		はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入			
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが 十分確保されているか	25.0	50.0	25.0	0.0	日により変動はあるが、多い日には 運動系の活動は1階のフロアで実 施する。 個別活動や宿題は別室で行うよう にしている。	72.2	22.2	5.6	0	少しだけ狭いような気がします。でも1階での活動量は普通のような気が します。 人数がどんどん増えるので難しい問題だと思います。 広いスペースでの風船バレーを楽しみたいです。 利用者が多いのは仕方がないですね。 1階で色々な運動ができていいと思います。	宿題や個別活動と小集団活動 の部屋は継続しつつ、1階の スペースを人数に応じて使っ ていくよう考えます。
	2	職員の配置数や専門性は適切 である。	75.0	25.0	0.0	0.0	配置基準より1名常勤数は多く、さ らに非常勤職員も配置している。 (児童指導員2名と看護職員2名の 配置) 職員名札をつけており、名札に職種 を明記しております。	77.8	22.2	0	0	あゆむの先生方もけっこういらっしゃるの子ども人数に合っている と思います。 スタッフが何の資格を持ち、専門分野がわからないので。 いつも気持ちよく声をかけてくれて、大人と話す機会があり、息子の対 人関係に取っていい勉強になっていると思います。	送迎時等に職種と名前を伝え るようにします。 例) 児童指導員の〇〇です。
	3	事業所の設備等はスロープや手すりの 設置などバリアフリーの配慮が適 切になされているか			100.0		階段は両方に手すりを設けていま す。	50.0	44.4		5.6	階段が少し急な気がします。手すりがついているので大丈夫だと思いま す。 トイレにも手すりがあったらいいなと思います。	階段の昇降時には職員を配置 するようにします。
業 務 改 善	1	業務改善を進めるためのPDCAサ イクル（目標と振り返り）への職員 の積極的な参加	100.0				ミーティングを毎日行い確認と振り 返しを行っている。						より充実した支援に繋がるよ うに継続実施を来ないます。
	2	第三者による外部評価を活用した業 務改善の実施	100.0				毎年ガイドラインのアンケートや 日々の保護者の会話から意見を聞い て改善している。						第三者委員会の外部評価を積極 的に実施していきたいと思 います。
	3	職員の質の向上を行うための研修機 会の確保	100.0				希望する研修会には積極的に参加が できるようにしている。						研修機会の確保と自己研鑽に 励みたいと思います。
適 切 な 支 援 の 提 供	1	子どもと保護者のニーズや課題が客 観的に分析されたうえで、放課後デ イサービス計画が作成されているか		100.0			利用時に家庭、学校の様子も聞い て、サービス等利用計画の支援目標 も参考にして作成している。	83.3	5.6		11.1	今年度は長期入院で利用が少なかったので答えられません。	モニタリング時や関係機関との面 談の際に保護者にもわかりやす い言葉でお伝えするように します。
	2	子どもの状況に応じて、個別活動と 集団活動を適宜組み合わせた放課後 等デイサービス計画の作成	100.0				毎日、個別と小集団活動は取り入れ ている。						活動内容は学年や特性に応じたも のを担当者会議の際にチーム全 体で協議して決めている。
	3	チーム全体で活動のプログラムの立 案	100.0				利用児の要望にどうしたら近づけら れるか相談し合う。毎月新しい活動 を取り入れる。						
	4	活動プログラムを”固定化”しないよ うに工夫されているか	100.0				「お話ししましょう」の活動で月1 回利用児の要望を聞きとり翌月リク エストに応えたり、形式を似せたり している。主に長期休業時に取り入 れている。	55.6	38.9		5.5	色々な活動をしていただいているし子どもの意見を取り入れているから 良いです。 息子が苦手な事を考えて色々なやり方を」考えてくれます。 家庭でできない活動や経験を毎回させてもらっています。	新しい活動を実施する時には内容の 目的等を直接お伝えする機会を増 やして説明します。

適切な支援の提供（続き）	5	平日・休日・長期休暇に応じたきめ細やかな支援	100.0			ゆとりを持ったスケジュールで、放課後時にはできないプログラムを取り入れる等している。						時間が長いので放課後ではできない活動（外出活動や遠足等）を取り入れていきたいと思います。	
	6	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100.0			職員間のミーティングを毎日行い、当日の活動の確認と役割分担、終了後には振り返りを行い次回の活動に生かせるようにしている。						活動前後にミーティングを実施し、その日の役割分担や活動内容の確認（準備物も含めて）を行っている。また活動実施後についても児の活動時等の様子や自由時間の状況について各自が報告しみんなで共有しています。	
	7	支援終了後における職員間でその日の支援の振り返りや気づいた点等の情報共有	100.0			記録担当者または活動を担当したものが、当日もしくは翌日の午前中に記録し、児童発達管理責任者が確認を行っている。						今後もこのようなPDCAサイクルを常に意識し、個別支援計画やモニタリング時やサービス利用計画にも反映していきたいと思います。	
	8	日々の支援に関して正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100.0										
	9	定期的なモニタリングの実施や放課後等デイサービス計画の見直し		100.0			長期休暇時のみの利用者については難しいが適宜実施している。						
	10	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		100.0		長期休暇時等には市立図書館や児童館（市内外）に行って交流の場を設けている。しかし積極的に一緒に活動する機会はないので検討していきたい。	50.0	44.4	5.6	毎回の個別活動では新しいものも増えてよいと思う。 月毎のイベントもあって楽しいプログラムになっています。		交流や活動する機会を設けた場合には保護者にお写真等を送付したり入り口に掲載します。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害者相談支援事業所のサービス担当者会議の参画			100.0	サービス担当者会議の参画は双方の日程の都合で難しい。しかし長期休暇時の関係機関連携会議時は同席してもらい共有を図っている。						サービス事業所・相談支援事業所・学校等の関係機関の日程調整を早めに行い実施できるよう努めます。	
	2	（医療的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子どもを支援している場合） 地域の保健・医療・障がい福祉、保育、教育などの関係機関と連携して支援の実施			100.0							体制が整った場合にご利用をいただいております。専門職が確保できるよう努力をしたいと思います。（医療的ケア児対象の放課後等デイサービス事業所ではないので）	
	3	（医療的ケアが必要な子どもや重度心身障害のある子どもを支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制の整備			100.0								
	4	放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容の十分な情報共有		100.0			年1回は長期休暇時等にそれぞれの学校から来ていただいて相談支援専門員と一緒に関係機関連携会議を開催し情報の共有を図っている。全員実施できるように改善する。					スムーズな移行ができるよう関係機関連携会議の開催を実施いたします。	
	5	他の障がい福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	100.0				転勤などの際には転出先の放課後デイサービス等に保護者の了解の基、連携を図っている。					個人ファイルを活用し日々の様子などをお伝えしていき情報の共有を図りたいと思います。	

(続 き)	6	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	100.0				年に数回市外の発達支援センター主催の研修会に参加をしている。									モニタリングや関係機関連携会議、送迎時等に顔を合わせる機会を増やしたいと思います。	
	7	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		100.0			法人としては大洲市主催の「市民の集い」に参加をしている。									ハロウィン時には近隣の商店等に行くことはあるが、保護者の意見も聞いて実施したいと思います。	
Z	1	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100.0				利用時に児童発達管理責任者から説明を行っている。	100.0								毎回わかりやすくていねいに説明してもらっています。支援の内容を直接言葉で説明してもらえるのでわかりやすいです。	更新時に受給者証を保護者と確認して不明な点があれば説明を行います。
	2	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	75.0	25.0			個人ファイルに日々の活動や状態について記載を行い、保護者に見ていただくようにしている。	88.9	11.1							ファイルで「活動でこんなことをしました!」とわかりやすく書いてあるのがとってもいいです。	個人ファイルのより一層の充実に努めます。
	3	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	25.0	75.0			モニタリング時に保護者と面接を行い相談支援を行っている・また、送迎時を利用して相談支援の機会を設けるようにしている。	66.7	27.8		5.5					色々相談にのってもらって助かっています。行われています。	モニタリング時以外にも直接顔を合わせてお話する機会を増やします。
	4	保護者に対する対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の			100.0		愛媛県が委託して実施されているペアレントトレーニングの紹介をその都度入り口に掲載している。										成長の見通しや経験からくるアドバイスも役に立つので積極的に参加を勧めていきます。
	5	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の関係が支援されているか				100.0	一部の保護者の方に父母の会について提案したが前向きなお答えはいただけなかった。学校や地域での会で手一杯と言われる。	33.3	44.4	16.7						なかなか参加はできません。あとはなかなかわかりません。	今後とも保護者のご意見を聞きながら保護者の集まる機会を提案します。
	6	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知説明し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25.0	75.0			重要事項説明書にて丁寧に説明を行っている。利用時の個別ファイルで苦情が記載されていた場合は直接児童発達支援管理責任者が対応しご理解が得られるよう改善している。子どもについては気持ちを聞きとり改善策を提示したり、環境を整えて対応している。	61.1	33.3							連絡を取ったり連絡をもらった時等説明してもらえるのは助かります。利用時にスタッフさんから口頭でも伝えていただいています。	苦情については入り口に掲載しておりますが送迎時にも声掛けするなどして把握に努めたいと思います。
	7	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100.0				利用時に気になったこと、保護者から気をつけて欲しいこと等は個人ファイルでやりとりを行っている。子どもについては言葉での意思表示が困難な児については写真や絵カードの利用、スケジュールボードの作成をして意思の疎通や自己選択、見通しなどに役立てている。	88.9	11.1							ファイルなどに今日の活動等や出来事を書いてもらったり、時には急な日程変更も連絡もらっています。利用時は職員から口頭でも伝えて頂いています。ご多忙中のところありがとうございます。	個人ファイルのより一層の充実に努めます。
	8	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に発信しているか			100.0		年に数回活動の様子を掲示したり保護者に配布している。活動概要や行事予定は月末に利用者全員に配布している。自己評価結果についてはホームページに掲載している。	77.8	16.7							行事予定や時たまの活動等の様子をプリントで見えています。個別の活動の内容については記入されているのでわかりますが、できるようになったことや苦手な事等たまにでもいいので状況を教えていただきたいです。	活動内容をA3版でカラー印刷して個人配布しています。今後も配布する機会を増やすなどして活動内容の理解を深めます。

(続き)	9	個人情報に十分注意をしているか	100.0			個人情報の管理は鍵のかかる場所で行っている。関係機関との情報共有については同意を頂くようにしている。	83.3	11.1			個人情報の取り扱いはとても気にしてもらってます。	個人情報の取り扱いについては一層の注意を払います。	
非常時の対応	1	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを作成し、保護者に周知・説明しているか	100.0			目につきやすい入り口に置いており、待ち時間にいつでも手に取りやすい状態にしている。	72.2	16.7	5.6		あゆむの入り口に置いてあるのがそうかなと思います。プリントでも見せてもらっています。あゆむでの活動中に災害が起きたら避難場所はどこになるのでしょうか。福祉センターに迎えに行くのでしょうか？	引き続き入り口に各種マニュアルを置いています。待ち時間などに手に取ってご確認ください。	
	2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100.0			年に2回実施し消防署の方にわかりやすくお話もいただいています。実施後は保護者の方への周知を行っている。	88.9	11.1			火災訓練などのプリントを見せてもらっています。	最低でも年2回は実施したいと思います。	
	3	虐待防止のための職員研修機会の確保など適切な対応	100.0			愛媛県が主催の虐待防止に関する研修会に参加したものが事業所で伝達研修を実施している。						なるべく多くの職員が研修に参加ができるようにしたいと思います。	
	4	やむをえず身体拘束を行う場合における組織的な決定と子どもや保護者に事前に十分な説明・了解を得たうえでの放課後等デイサービス計画の記載		100.0			基本的に拘束はしない。						基本的に拘束は行っていないが、児の意思決定支援も大切にしたいと思います。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応			100.0		アレルギーのある児童は保護者と連携し長期休暇時等は自宅からお弁当を持って来てもらっている。またクッキングの時はアレルゲンの除去を排除(卵)弁当注文時には物質の排除(エビ)は行っているが医師の指示書に基づく対応までは実施していない。						アレルギーについては事前に保護者に確認は行っている。しかし今後とも定期的に新たなアレルギーはないかも保護者に確認していきたいと思う。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100.0				作成し、再発防止に努めている。						
	1	子どもは通所を楽しみにしているか	100.0				児の特性に応じた活動内容を実施しています。また視覚化や構造化を用いてスムーズに取り組めるよう配慮をしています。	77.8	22.2			毎日楽しみにしています。毎回プログラムを楽しみにしています。自分でもできるように工夫していただいているので達成感があるようです。とても楽しそうに通わせてもらっています。	継続して特性に応じた活動の提供を行いたいと思います。
2	事業所の支援に満足しているか	25.0	75.0			毎月どんな活動をしたいかを子ども達に聞いて取り入れるようにしている。	83.3	16.7			満足していますがそれ以上に感謝をしています。先生方のあたたかい支援の中できるようになった事、人とのコミュニケーションが沢山息子にできるようになったと思います。子どものことも家族のこともとても支援をさせていただいて助かっています。	児の意思を反映し楽しんで活動に取り組めるようにしたいと思います。	
その他											息子に何かあった場合言ってもらえるので助かります。あゆむではなく学校でした怪我等も対処してくれるので助かります。		